

平成30年度

# 環境活動レポート

対象期間 : 平成30年5月～平成31年4月

発行年月日 : 令和元年6月28日

株式会社 照甲組

## 目 次

1. 環境方針	1
2. 事業概要&認証登録範囲	2
3. 実施体制	3
4. 環境目標	4
5. 環境活動計画	5
6. 環境目標の実績	6
7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容	7
8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無	8
9. 代表者による全体評価と見直し結果	9
10. その他の環境活動	10

# 1. 環境方針

## 『環境理念』

株式会社照甲組は、土木・建築工事の事業活動において、社員一丸となって環境問題を認識し、自主的・積極的に環境負荷の低減及び環境の保全活動に取り組むことで、社会的責任を果たしていくことを誓約します。

又、地域社会に貢献し、地域社会と共に発展し、愛される企業となる為、環境にやさしい企業を目指します。

## 『環境保全への行動指針』

1. 取組はエコアクション21ガイドラインに従い運営し、全従業員が積極的に取り組みます。
2. 二酸化炭素排出量削減・節電・節水・廃棄物の分別、削減に努めます。
3. 安全運転・車両管理等に関して、取組や教育を通し社員の資質を高めます。
4. 地域活動、環境保全活動への参加、環境活動レポートの公表など、地域との環境コミュニケーションに努めます。
5. グリーン購入の推進に努めます。
6. 環境配慮製品の提案及び、環境配慮した工事に努めます。
7. 事業活動に関連する法規制は、確実に遵守することを誓約いたします。

制定日：平成24年5月1日

株式会社 照 甲 組

代表取締役 照 井 泰 平

## 2. 事業概要&認証登録範囲

### 1. 名称及び代表者名

株式会社 照 甲 組  
代表取締役 照 井 泰 平

### 2. 所在地

#### 【本社・車庫倉庫】

〒025-0084 電話 0198-23-4228  
岩手県花巻市桜町1丁目417番地 FAX 0198-23-4220

#### 【資材倉庫】

〒025-0024 電話・FAX 本社と同じ  
岩手県花巻市山の神370

#### 【資材置場】

〒025-0024 電話・FAX 本社と同じ  
岩手県花巻市山の神724

#### 【遠野営業所】

〒028-0501 電話 0198-62-2319  
岩手県遠野市青笹町糠前4-30-5 FAX 0198-60-1388

### 3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 照井 博文  
電話・FAX 本社と同じ  
担当者 営業部係長 佐藤 太至  
電話・FAX 本社と同じ

### 4. 事業活動の内容

昭和14年1月1日 創業  
昭和34年5月1日 設立  
資本金 5,200万円  
業務内容  
土木工事・建築工事・舗装工事・大工工事・とび土工工事・塗装防水工  
事・屋根工事・内装仕上工事・水道施設工事・解体工事  
建設業許可 岩手県知事許可(特-28)第219号  
従業員数 58名 (平成30年5月現在)

### 5. 事業規模

	単位	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
完工高	百万円	1,036	1,289	1,674	1,991	1,970
従業員数	人	53	53	56	59	58

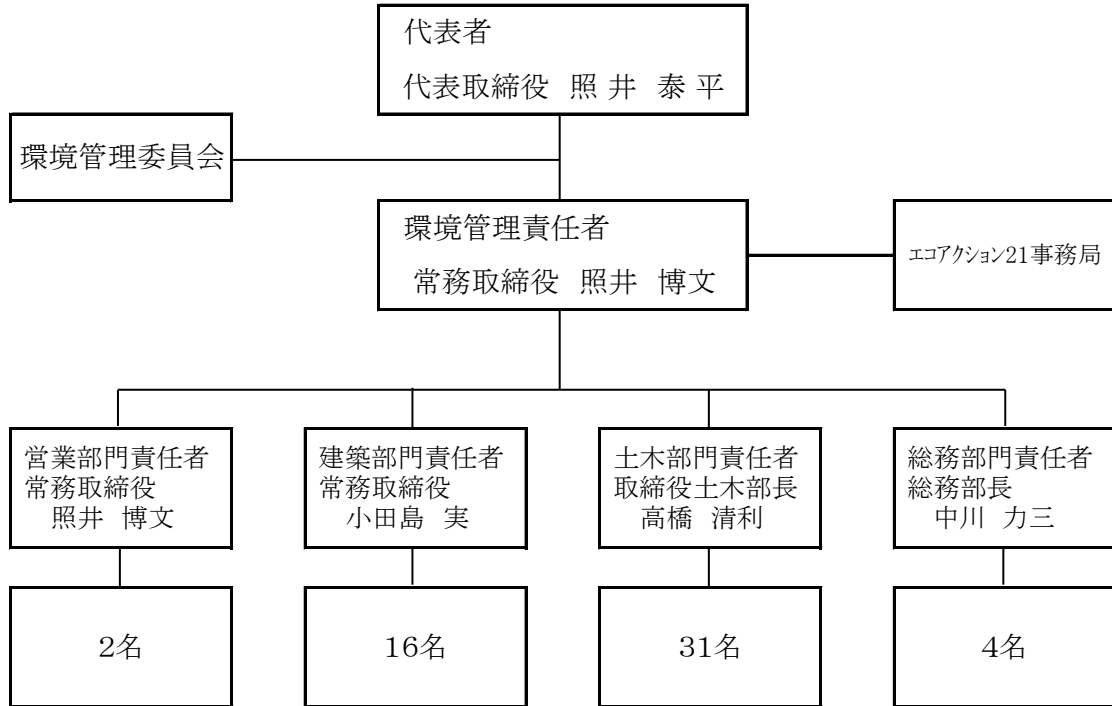
	本社	車庫倉庫棟	資材倉庫	遠野営業所
従業員	58	0	0	0
床面積	940.46m <sup>2</sup>	420.9m <sup>2</sup>	133m <sup>2</sup>	223.57m <sup>2</sup>

### 6. 認証登録範囲

全組織全事業活動

### 3. EA21実施体制

#### 1. 組織図



#### 2. 環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営に関する統括責任。</li> <li>環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備。</li> <li>環境管理責任者を任命。</li> <li>代表者による全体の評価と見直しを実施。</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境経営システムの構築、実施、管理。</li> <li>環境活動の取組結果を代表者及び環境管理委員会へ報告。</li> </ul>
部門責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当部門について環境経営システムを実施し、維持する。</li> <li>省資源、省エネ、節水等の奨励・実施・確認・是正。</li> <li>従業員に対する教育訓練の実施</li> </ul>
環境管理委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>委員長は社長とし、環境管理責任者が召集する。</li> <li>環境管理責任者の提案を審議し、決定事項を環境責任者は各部門で実施する。</li> <li>内部監査の代りに、計画の進捗状況・ガイドラインへの適合状況を審議し、不適合・不具合が有る場合は代表者、環境管理責任者に是正を勧告する。</li> </ul>
Ecoアクション21事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境管理責任者の補佐。</li> <li>環境関連の外部コミュニケーションの窓口。</li> <li>環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> <li>取組データの集計、取りまとめ及び文書記録類の管理。</li> </ul>
全社員	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚し、能力向上に努める。</li> <li>決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加。</li> </ul>

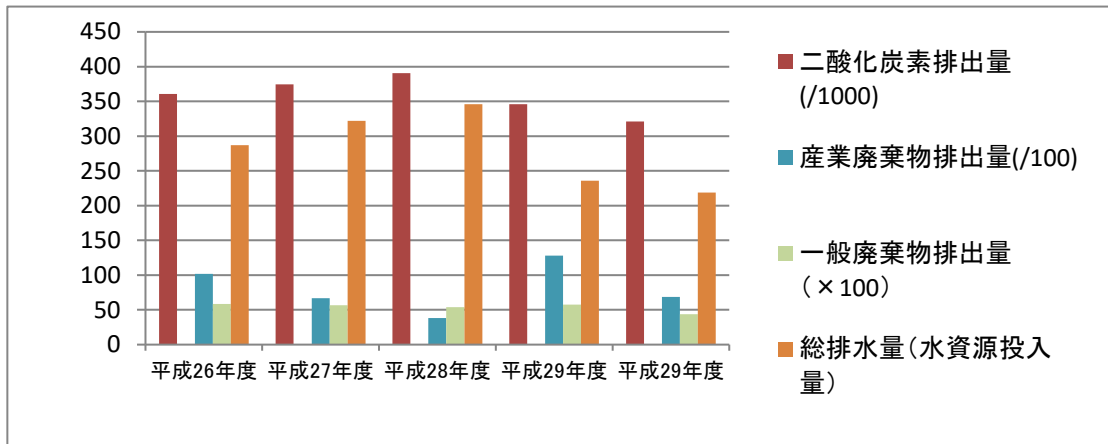
## 4. 環境目標

### 1. 環境負荷等の実績

表1、主な環境負荷等の実績

項目	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	360,808	374,715	390,505	345,658	321,184
廃棄物排出量	t	10,161.6	6,684.53	3,816.77	12,851.61	6,914.28
産業廃棄物排出量	t	10,161.1	6,684	3,816.23	12,852.18	6,913.84
一般廃棄物排出量	t	0.585	0.565	0.537	0.574	0.437
総排水量(水資源投入量)	m <sup>3</sup>	287	322	346	236	219
環境配慮工事の推進	%	100	100	100	100	100

注：二酸化炭素排出量に関わる購入電力の排出係数は、平成26年度東北電力実排出係数 0.521kg-CO<sub>2</sub>/kwを平成28年度より用いて算定。



### 2 環境目標の設定

当社では、今年度より平成27年度を基準年度として中期及び単年度の環境目標を、それぞれ表2のとおり設定し、環境活動に取り組んでおります。

表2 環境目標

基準年度(平成27年度)比の削減(増加)率(%)

項目	基準値	完工高原単位	単年度目標			中期目標
			平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度
二酸化炭素排出量	374,715kg-CO <sub>2</sub>	290.73 kg-Co <sub>2</sub> /完工高	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
産業廃棄物排出量	6683.94t	5.19t/完工高	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
一般廃棄物排出量	0.5653t	0.000438t/完工高	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
総排水量(水資源投入量)	322m <sup>3</sup>	0.2498m <sup>3</sup> /完工高	1%削減	2%削減	3%削減	3%削減
グリーン購入	5件		購入件数増加	購入件数増加	購入件数増加	購入件数増加
環境配慮工事の推進	100%		100%	100%	100%	100%

※平成25年度より、完工高原単位から環境目標を設定。

※グリーン購入は毎年購入件数を増やす。継続して購入する。

## 5. 環境活動計画

平成27年度実績を基準として、毎年1%削減、3年後に平成27年度実績の3%削減とし、環境目標を次の通り策定した。

### ① 電力使用量の削減

- ・ 昼休み時間の消灯、不要照明の消灯。
- ・ 長時間の離席や不在の時は、PCの電源を切る。
- ・ 空調を必要な区域・時間帯に限定する。
- ・ 事務所内の冷房設定を適正化する。

### ② 燃料使用量の削減

- ・ 社用車のアイドリングストップの実施。
- ・ 暖房の控えめ使用。
- ・ 長時間の外出時にはストーブを止める。
- ・ 不用物の積載禁止。
- ・ ハイブリッド車の導入。

### ③ 一般・産業廃棄物の削減

- ・ 両面印刷、コピーを徹底する。
- ・ 使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。
- ・ 分別して、リサイクルに努める。
- ・ 産業廃棄物(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。

### ④ 水使用量の削減

- ・ 水を出しっぱなしにしない等、節水に努める。

### ⑤ グリーン購入の推進

- ・ エコ商品の購入。

### ⑥ 地域環境への貢献

- ・ 環境ボランティア活動への参加。
- ・ 職場体験の受入。

### ⑦ 環境配慮工事の推進

- ・ 騒音対策として、施工方法や重機・車両等の見直しを行う。
- ・ 汚水流失や油流失を防止するために、適切な措置を行う。
- ・ 粉塵等が懸念される場合、養生等で適切に措置を行う。
- ・ 環境への配慮並びに近隣住民への報告の徹底、苦情・事故ゼロに努める。

## 6. 環境目標の実績

当社では、環境目標の達成状況の確認・評価を行いました。  
今回は、平成30年度の実績についての評価結果を報告します。

表4 当該年度の環境目標の達成状況等

項目	単位	平成27年度 基準年	当該年度 平成30年度		環境目標の 達成状況	
			削減(増加)率(%)	目標値		実績値
1. 電力の二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub> /完工高	13.11	3%削減	12.72	15.35	×
2. 燃料の二酸化炭素	kg-CO <sub>2</sub> /完工高	280.85	3%削減	272.42	147.68	○
3. 二酸化炭素合計	kg-CO <sub>2</sub> /完工高	293.96	3%削減	285.14	163.03	○
4. 一般廃棄物	t/完工高	0.000438	3%削減	0.000425	0.000221	○
5. 産業廃棄物	t/完工高	5.19	3%削減	5.03	3.51	○
6. 総排水量(節水)	m <sup>3</sup> /完工高	0.2498	3%削減	0.2423	0.1111	○
7. グリーン購入	品	5	購入件数増加	6	6	○
8. 環境配慮工事	%	100	100	100	100	○

※電力の二酸化炭素の基準年の数値は、変更前の東北電力実排出係数 0.423kg-CO<sub>2</sub>/kwを用いていたため、変更後の係数0.521kg-CO<sub>2</sub>/kwを用いて再計算した。

○:達成、×:未達成

### 環境活動の状況

#### 【達成項目に関して】

燃料使用量・廃棄物・排水量等、ほとんどの項目で目標値をクリアしている。  
燃料については、各社員が毎日のエコ運転の心がけや、現場での燃料節約意識が付いてきたこと、また、新社屋の空調をすべて電化したことが削減の要因となっている。  
廃棄物量については、例年多く受注していた「切削オーバーレイ工事」と「仮設住宅等の解体工事」の受注が少なく、廃棄物の出にくい新築工事が増えたことが要因として挙げられる。  
排水量については、新社屋のトイレを自動洗浄式に変更したことや、節水効果のある蛇口製品を取り付けたことなどが要因として挙げられる。

#### 【未達成項目に関して】

電力使用量が未達成となった。  
新社屋では空調がすべて電化し、照明量も旧社屋に比べて多く設置しているため、ある程度予想はできていた。その分燃料使用量などは減少しているが、前年度よりかなりオーバーしてしまっている。  
今回未達成となったが、来年度からの環境活動では新社屋での節電に取り組んでいきたい。



## 7. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度以降の取組内容

### 1. 取組結果の評価

表5 主な環境活動計画の内容と取組結果

項目		実施状況の評価	
1. 二酸化炭素排出量の削減	電気使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼休み時間の消灯、不要照明の消灯。</li> <li>・長時間の離席や不在の時は、PCの電源を切る。</li> <li>・空調を必要な区域・時間帯に限定する。</li> <li>・事務所内の冷暖房設定を適正化する。</li> </ul>	○ ○ ○ ○
	燃料使用量の削減	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社用車のアイドリングストップの実施。</li> <li>・冷暖房控えめ使用。</li> <li>・長時間の外出時にはストーブを止める。(現場事務所)</li> <li>・不用物の積載禁止。</li> </ul>	○ ○ ○ ○
2. 一般・産業廃棄物の削減について		<ul style="list-style-type: none"> <li>・両面コピーを徹底する。</li> <li>・使用済み用紙(片面コピー)の裏面を利用する。</li> <li>・分別して、リサイクルに努める。</li> <li>・産業廃棄物(マニフェスト)をもとに廃棄物の適正な処理を行う。</li> </ul>	○ ○ ○ ○
3. 水使用量の削減について		水を出しっぱなしにしない等、節水に努める。	○
4. グリーン購入について		エコ商品の購入(事務用品等)	○
5. 地域貢献活動		環境ボランティア活動への参加。 職場体験の受入。	○ ○
6. 環境配慮工事		騒音対策として、施工方法や重機・車両等の見直しを行う。 汚水流失や油流失を防止するために、適切な措置を行う。 粉塵等が懸念される場合、養生等で適切に措置を行う。 近隣住民への報告の徹底、苦情・事故ゼロに努める。	○ ○ ○ ○

○:評価できる、△:まずまず評価できる、×:評価できない

### 2. 次年度の取組内容

#### (1) 二酸化炭素排出量の削減

空調使用の適正化:未使用の区域や時間帯は空調を使用しない。  
使用中でも温度設定を適正化する。

#### (2) 廃棄物の排出削減

紙資源の有効活用:片面コピーの裏紙使用を徹底する。

#### (3) 節水(排水対策)

節水:水使用時に必要な分だけ使用する等、全員が節水意識を持つ。

#### (4) グリーン購入

循環資源使用の提案:工事において、再生材料の使用を提案する。  
エコ商品の購入:使用する事務用品等をエコ商品に切り替え、継続して購入する。

#### (5) 地域貢献活動

環境ボランティア活動の参加。

#### (6) 環境配慮工事

騒音対策・汚水・油流失等への対策といった環境への配慮。

## 8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

当社が法的義務を受ける環境関連法規について遵守状況をチェックしたところ違反はありませんでした。

また、過去3年間、関係当局からの違反等の指摘、住民等からの苦情、訴訟等について、問題が有りませんでした。

## 9. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し項目	評価	改善及び指示
1. 環境方針	環境方針を認識し、環境問題に関して社員一人一人が取り組む姿勢であったと思われる。	見直しを行わず、引き続き実行する。
2. 環境目標	中期目標である、基準年からの3%削減を電力以外の項目で達成している。	見直しを行わず、引き続き実行する。
3. 環境活動計画及び環境経営システム	環境活動計画に法り、社員一人一人が積極的に活動を行っている。	見直しを行わず、引き続き実行する。
4. その他	新社屋に移転したことで、例年よりも環境活動上の数値が増減している。会社全体の状況を把握するなど、来年度からの環境活動に向けて、準備をしっかりとしたい。	来年度から1年を通して新社屋での環境経営活動を行っていくことになるので、その状況に即した対策や基準を設けていくように。
5. 全体評価	<p>今年度は、後半期で新社屋での営業が開始され、電力消費量が増加することが予想されておりました。結果的にその通りとなりましたが、その分燃料使用量や水使用量の節約といった、今までしてきた事を継続して行うことでカバーすることができると考えておりました。最終的に電気使用量のみ中期目標を達成できませんでした。その他項目については大幅に達成することができました。</p> <p>来年度からは新社屋に適した中期目標を設定し、目標に向かって環境活動をさらに推進していきたいと思っております。</p>	

## 10. その他の環境活動

- |           |           |                   |       |
|-----------|-----------|-------------------|-------|
| ① 安全衛生委員会 | 毎月、月末     |                   |       |
| ② 安全大会    | 年2回       |                   | 全員    |
|           |           | 緊急事態訓練            | 10名参加 |
| ③ 地域貢献活動  | 4/12(木)   | 北上川河川敷清掃活動        | 3名参加  |
|           | 7/6(金)    | 建設業ふれあい事業(石鳥谷中学校) | 1名参加  |
|           | 8/23(木)   | 建設業ふれあい事業(湯本小学校)  | 1名参加  |
|           | 8/10(木)   | 「道の日」道路清掃活動       | 3名参加  |
|           | 9/20(水)   | 「空の日」空港周辺道路清掃活動   | 2名参加  |
|           | 9/26～9/28 | 就業体験(インターンシップ)    | 2名受入  |
|           | 10/5(金)   | 建設業体験実習(花巻農業高校)   | 1名参加  |
|           | 10/1～10/5 | 就業体験(インターンシップ)    | 2名受入  |